

[仕様]

測深性能	
測定可能深度	3m~100m
測定許容半径 (センサー部を中心)	半径約 4m (深度 3m~5m の時)
	半径約 7m (深度 6m~9m の時)
	半径約 10m (深度 10m~14m の時)
	半径約 15m (深度 15m~20m の時)
	半径約 20m (深度 21m~50m の時)
深度分解能	1cm
繰り返し精度	約 2cm
測定精度	±1cm~±15cm (濁り、深度、ソナーの起伏角度による)

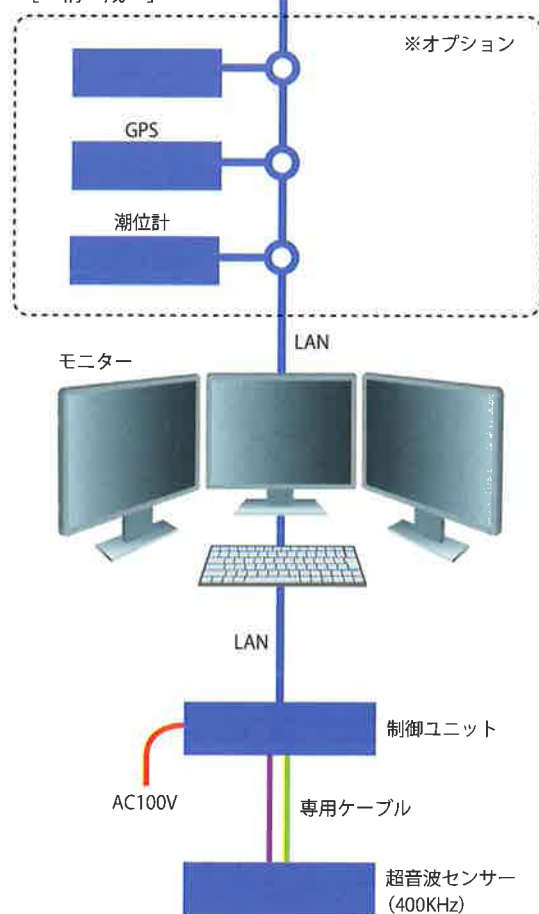
測定条件	
傾き許容範囲	全方位に対し ±10° 以内
濁り状態	ひどくないこと
水温	5℃~30℃
塩分濃度	0%~3.5%

測定時間	
平均時間	0.2秒/ポイント
ポイント測深モード時	0.2秒 (1ポイントあたり)
グラブ追尾モード時	4.0秒 (20ポイントあたり)
領域測深モード時	約1分 (300ポイントあたり)
その他	但し、濁りが強くないこと

製品仕様	
超音波周波数	400KHz
発振出力	1000W (ピーク時)
消費電力	AC100V±10% (50/60Hz) 1.5KW
重量	ソナーヘッド: 約 37kg
	制御盤: 約 35kg
	支持装置: 約 100kg
防塵/耐水性	ソナーヘッド: IP68
	制御盤: IP55
外形寸法	ソナーヘッド: W250mm×L160mm×H430mm
	制御盤: W550mm×L250mm×H640mm
	支持装置: W650mm×L750mm×H1500mm



[構成]



ソフトウェアハウスが創った標準

パシフィックソフトウェア開発株式会社は、その名称から想起される通りコンピュータのソフト、システムの開発会社です。

ソフト開発の中でも制御系に特化、FA、電子機器制御等を得意分野として事業を展開する特異なソフトハウスです。

パシフィックソフトウェア開発株式会社がいわゆるメカトロニクスに深く関わってきたこと、そして高知県という海洋に対峙した環境があったことから海洋土木高度情報技術サービス「SeaVision」は誕生しました。

SeaVision

シービジョンは、海洋土木高度情報技術サービスに係るシステム、ソフトウェアの総称です。



パシフィックソフトウェア開発[株]

本 社 〒780-0945 高知市本宮町 105-22 ソフトウェア団地
TEL:088-850-0501 FAX:088-850-0570
大阪開発センター 〒550-0014 大阪市西区北堀江 1-1-4 長堀新興産ビル9F
TEL:06-6543-3328 FAX:06-6543-3375

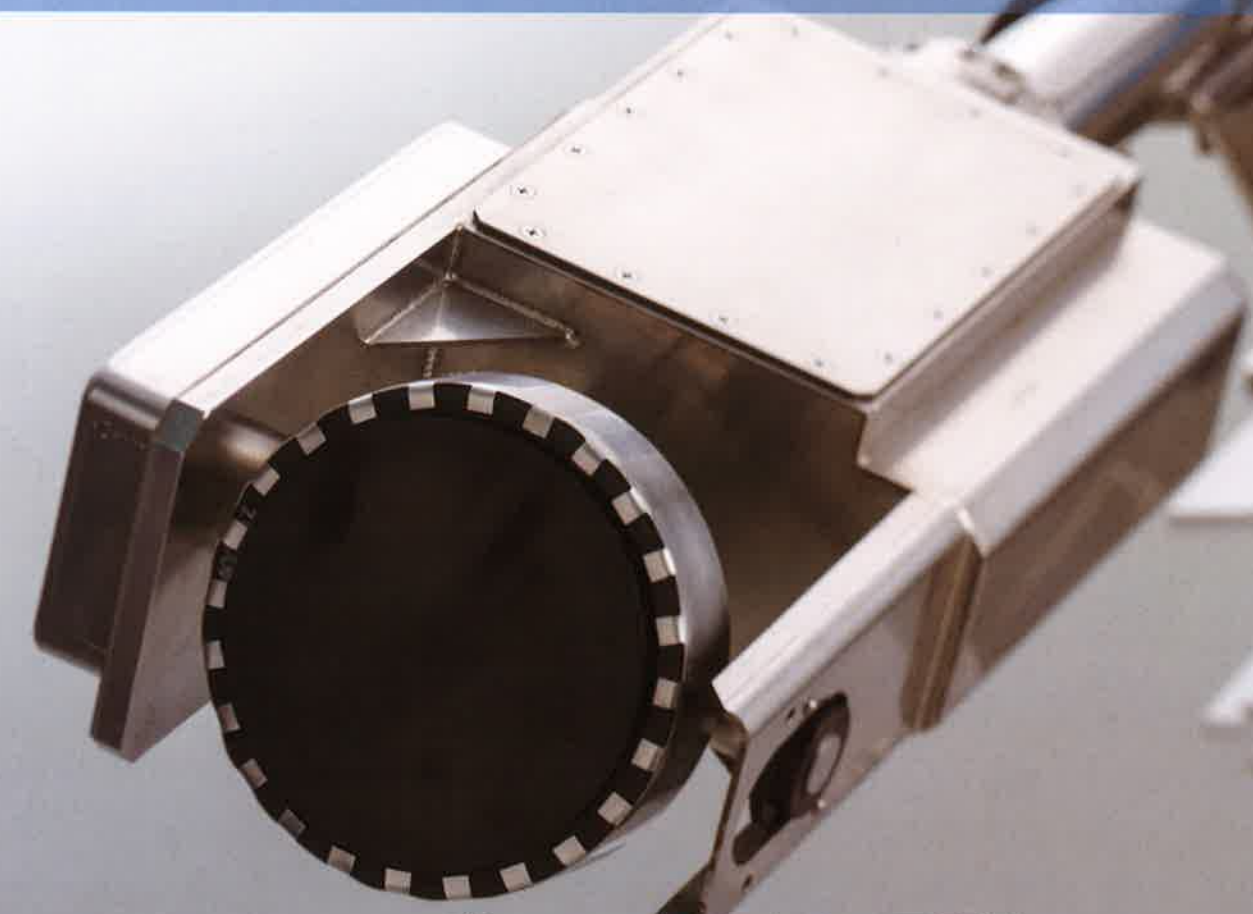
www.pacificsoftware.co.jp

進化系誕生。

国土交通省NETIS登録/SKK-030002-VE(2003年度登録)

測深管理システムエス・ビー・ソナー

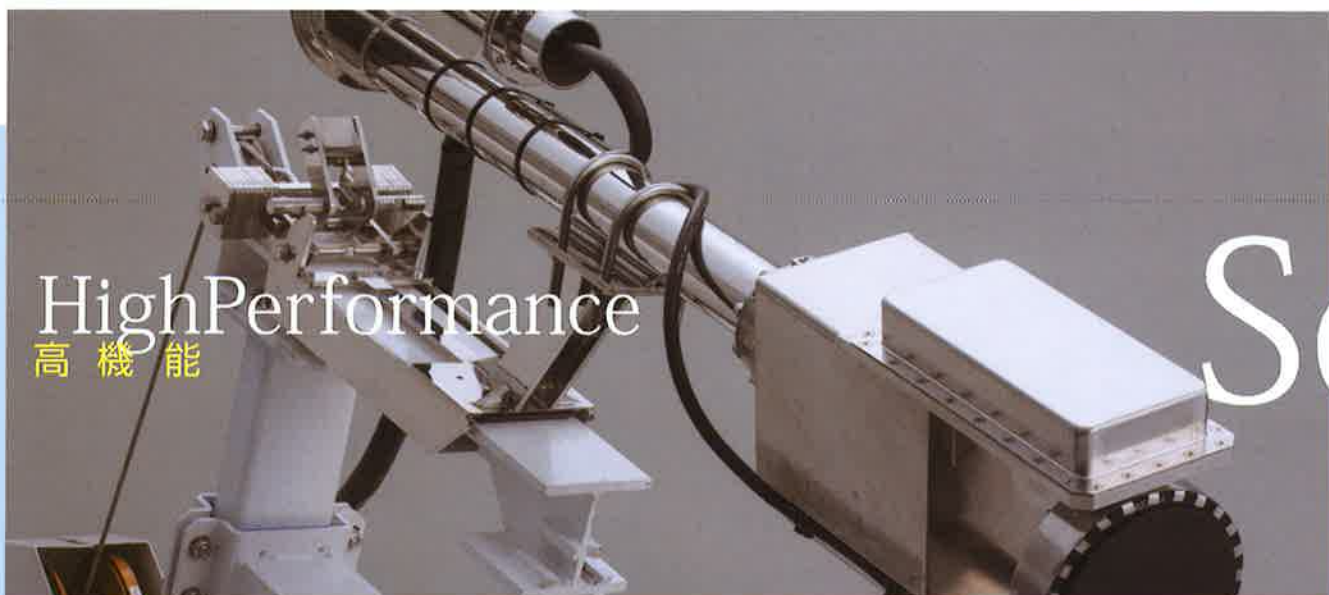
SV-Sonar SV-1000



パシフィックソフトウェア開発
Pacific software development



HighSpeed
高速処理



HighPerformance
高性能



HighIntelligence
高知能

SV-Sonarは、超音波センサーと最新のデジタル技術を使用して、海底をスキャンするコストパフォーマンスの高い測深システムです。
濁りなどの海中状況をソフトウェアで判断し、高速で最適な測深を行うことで高い評価を頂いています。

※SV-Naviと接続することによって、SV-Sonarに搭載している機能を最大限に使用することができます。

測深管理システムエス・ビー・ソナー SV-Sonar SV-1000

シービジョンのシステムが新機能をまとめて進化しました。

SeaVision

測深可能範囲 new

限界を超える

超音波出力のパワーアップにより測深可能深度が100mまでとなりました。また、測深領域の制限をなくし、自由に測深領域を設定することが可能となりました。
(濁りなど海底状況により超音波の届く範囲に制限があります。)

ハイコストパフォーマンス new

高性能・低価格

性能を格段に向上させながら海洋土木工用の超音波測深システムとしてこれまでにない低価格を実現させました。

コンパクト化 new

設置にドック入りの必要がなく、ソナーの海中投入や引き上げなどの作業なども全て1人で行うことができます。また、回航時などには機材を格納状態、または一時的に取り外し、保管することが容易にできます。

超高速確認 new

浚渫確認5秒

測深速度が従来機の1.5倍に向上、24ポイント(約8.0m×3.0m)の浚渫確認がわずか5秒で完了します。

高速補正機能

船体の傾きを2つの傾斜計によって自動的にデータを補正します。ソナーヘッドに内蔵された傾斜計は、ヘッドの揺れ、傾きを自動補正、目標位置に対して正確な測深を実現します。また、作業船舶の激しい揺れなどで自動補正の限界を超えた場合、自動的に再測深を行います。

高速デジタル制御と、多彩なデータ表現で作業効率向上を実現しました。

測深作業に伴う高度な技術は不要です。煩雑な作業も自動化によって大幅に軽減されます。また、SV-Sonarの操作も見やすい画面構成で測深作業をサポートします。

グラフ追尾測深

グラフ浚渫作業と同時に作業結果の確認を想定、グラフ(バケット)追尾モードを追加設定することが可能です。この設定により、クレーンの情報(旋回角+ジブ角)を元に、グラフの浚渫直後のポイントの測深が可能です。(SV-Naviとの接続、もしくはクレーン情報の入力が必要です)

指定領域内を集中測深

グラフ領域や扇形領域、矩形領域など用途に合わせた測深領域形状を指定することで最適な測深が可能となります。また、指定した領域を連続して測深する機能や、規定深度より浅いポイントを自動で再度測深する機能など利便性を高めた測深が可能です。

直感的に海底形状把握

グラフィカルで多彩な表現

平面表示、3D表示、断面表示によって、視覚的に海底形状を把握することができます。また、グラフィカルな画面表示だけでなく、数値の表示、出力も可能で、さらに、それぞれの画面のプリンター出力も可能です。

GPS情報の付加

測深データにGPS情報を付加することで緯度経度によるデータ管理を実現します。このデータ管理法は、蓄積したデータの結合や、施工の確認に最適です。(SV-Naviとの接続、もしくはGPS情報の入力が必要です)

LANネットワークによるシステム構築 new

LAN接続によって設置が簡単で拡張性の高いシステムが構築できます。また、他の機器の接続、データの交換・連携が容易になります。

SV-Sonarの機能をさらに向上させ、海洋土木作業の効率化を促進させるために施工管理システムSV-Naviの利用をお勧めしています。

